

地区防災計画の運用状況

(仁賀地区)

1. 地区防災計画作成年月

令和4年12月

2. 訓練実施の有無

有り

3. 最近の訓練実施日

令和5年6月11日

高梁市大規模水害対策訓練に合わせ、全戸を対象とした避難訓練を実施した。

4. 地区防災計画の地域への浸透具合

独自に要支援者情報などを作成し共有できている。

各町内会長が運営委員を兼務し、地域住民へ周知できている。

5. 訓練等を通じた課題など

連絡がつかない町内会があったため、当該地区在住者の安否確認が出来ていない。

6. 課題を踏まえた計画見直しの必要性

「代理者を選任する等、各町内会へ必ず連絡が取れるようにしておく。」「また、消防団等を通じ現地確認を行うようにする。」などの必要性が生じた。

7. 地区防災計画の見直しについて

避難世帯、道路状況、負傷状況などのチェックシートを高梁市統一様式としておけば分かりやすく整理でき、本部への報告の際に伝達が容易になると思われる。

地区防災計画の運用状況
(成美地区)

1. 地区防災計画作成年月
令和4年5月
2. 訓練実施の有無
有り
3. 最近の訓練実施日
令和5年6月11日
高梁市大規模水害対策訓練に合わせ、各町内会に声掛けを行い避難訓練を実施した。
4. 地区防災計画の地域への浸透具合
各町内会長へ計画書を配布しているが、現状としてはコミュニティ内全てで自主防災組織が設立できておらず、更なる働きかけが必要である。
5. 訓練等を通じた課題など
町内会長は2年で交代する地域が多く、避難訓練等を通じて地域防災の必要性を理解できたタイミングで役員交代となり、地域毎で活動に対する考え方に温度差がある。
6. 課題を踏まえた計画見直しの必要性
現段階での計画見直しの必要性よりも、各地域への計画の浸透に注力したい。
7. 地区防災計画の見直しについて
住電や中電の寮や社宅等に住まわれている方々は、現状としてコミュニティとの関係性が希薄であるが、避難の呼びかけ等をどうしてゆくかも考えておかなければならないと感じている。